

令和2年度鳴門教育大学教員免許状更新講習概要

選択領域

講習の区分	受講者が任意に選択して受講する領域
講習の名称	【選択】児童・生徒の有感感と社会形成力を高める連携・一貫教育による学校づくり
受講者定員	30人
受講対象者	小学校・中学校・高等学校・中等教育学校・特別支援学校の教諭, 養護教諭
開設日	令和2年7月29日(水)
講習の形態	主として講義, その他(KJ法による作業)
講習時間	6時間
講習会場	鳴門教育大学(徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地)
担当講師	西村 公孝
受講料	6,000円

講習の内容	<p>児童・生徒は未来の形成者である。現代の教育課題として「児童・生徒の社会形成力」育成の課題は何か、児童・生徒の自己有用感(自尊感情)を高めるカリキュラム編成や学習指導はどのようにあるべきか。このような課題に対して、子どもの居場所を見つける教育活動として特別活動や総合的な学習の計画・実践に成功した学校の事例を紹介し、今日、注目されている連携・一貫教育、キャリア教育、ESD、子どもの貧困、心のバリアフリー、消費者教育の視点を加えながら小中高連携や一貫の学校づくりを考える。</p>
講習のねらい	<p>未来の形成者となる児童・生徒の社会形成力育成について、小中高一貫のカリキュラム開発の視点から、「自己有用感」「居場所づくり」などをキーワードとして開発を試みる。その際に、教科指導以外の特別活動や総合的な学習の時間の実践例などを参考に、教科・校種のグループを編成して開発に取り組むことによりカリキュラム開発に関する教育実践力を体験的に学ぶ。</p>
講習到達目標	<p>次の事項について理解し、説明することができる。また、実践力や技能の習得を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 現代の教育課題として、子どもの社会形成力の必要性についての理解と説明 ② 児童・生徒の「自己有用感(自己肯定感)」を高めるための教科指導の方法論の検討とその具体的な提案 ③ 児童・生徒が学校に居場所を見つけられる特別活動、総合的な学習などの企画・運営に関する教育実践力 ④ 社会形成力を育成する小中高一貫のカリキュラム開発の技能
講習スケジュール	<p>令和2年7月29日(水)</p> <p>8時55分～ 9時00分 オリエンテーション 9時00分～10時30分 講義 10時40分～12時10分 講義・演習 12時10分～13時00分 昼食休憩 13時00分～14時30分 講義・演習 14時40分～16時10分 講義・演習 16時15分～16時25分 試験問題/アンケート用紙 配付・説明 16時25分～17時05分 履修認定試験 17時05分～17時15分 試験問題/アンケート用紙 回収</p>
履修認定試験の方法	筆記試験
成績評価	<p>成績評価は、講習の担当者が作成した試験の成績から判断します。 履修認定試験の結果、受講者の理解が到達目標に達したと認める場合は成績審査に合格した者としてますが、その際の評価は60点以上の採点をもって行います。</p>
持参するもの	筆記用具
台風接近等に伴う休講の振替日	令和2年8月3日(月)
その他	受講申込みについては、「募集要項」を参照してください。